

## 環境分科委員会のプロジェクト

### 第4回国際環境フォーラム～国境のない自然～（沿海地方）

#### 1 目的

- ・ 環境保全分野における現状と課題、今後の方向性についての包括的な議論
- ・ 天然資源の合理的な利用や環境保全分野における、地方自治体レベルも含めた国際経験の総括及び国際協力の発展

#### (1) テーマ

海洋環境

#### (2) 目的

- ・ アジア太平洋地域での統一の環境空間の形成
- ・ 国際環境協力の有効性の拡大及び向上
- ・ 天然資源の総合的な利用及び環境改善に関する国際経験の総括
- ・ 現状と課題、今後の方向性の包括的な議論に基づく、環境政策の改善、より良い環境の創出、天然資源の総合的な有効利用 に関する手法の作成

#### 2 事業内容

##### (1) 実施時期

2009年10月6日～8日

##### (2) 実施場所

沿海地方ウラジオストク市

##### (3) 実施方法

各自治体は、環境保全に関心を持つ科学者、専門家、NGO、NPO、企業などに、「第4回国際環境フォーラム～国境のない自然～」の開催について、情報提供し、参加を呼びかけた。各自治体の環境部局の代表にも参加するように協力を呼びかけた。

##### (4) 参加者

北東アジア地域の国々に参加を呼びかけた。NEAR 環境分科委員会のメンバーである富山県、鳥取県、アムール州の地方政府が参加。また、UNEP の代表者の他、関心を持つドイツ、日本、ベトナム、アメリカ合衆国、インド、韓国、北朝鮮からの専門家が参加した。

ロシア国内からは、沿海地方以外にも、モスクワ、ハバロフスク地方、カリーニングラード州、サハリン州、マガダン州、アムール州、ユダヤ自治共和国からの代表が参加した。

その他、フォーラム期間中「海洋環境」専門展示会が開催され、全部で17団体の展示ブースが設置された。外国からは2か国（日本、ドイツ）の企業の展示ブースが設置された。

国際環境フォーラムでは、フォーラム総会と以下の3つの討議セッションが行われた。

##### <討議セッション>

- ・ 海洋環境の課題及び安全性の危機
- ・ 人間活動が海洋環境に与える影響、海洋での事故防止及び事故からの修復に用いる現代の自然保護技術
- ・ 連邦の環境政策と海洋環境の保全及び修復の問題を解決するための社会の役割

また、フォーラムでは、最も緊急の課題に関する 50 以上の発表あった。  
さらに、フォーラムの結果に基づき、目的に応じた具体的な対応策の実施の提案を含む決議が採択された。決議はフォーラムのオフィシャルサイトに掲載している。

<http://priroda.primorsky.ru>

(5) 年間計画

2006 年から 2008 年までの 3 年間、毎年ウラジオストク市でフォーラムを開催し、毎回 600 人以上の国内・国外参加者が参加している。2009 年のフォーラムでは約 500 人が参加。

□2009 年 10 月 6 日

フォーラム（全体会議）



□2009 年 10 月 6 日～8 日

専門展示会

